

令和5年度 学校評価（まとめ）

江津市立川波小学校

重点目標	短期目標	目標達成のための計画		自己評価		学校関係者評価		改善策等
		具体策	評価の観点（具体例）	取組状況および達成状況	評価	取組状況および達成状況	評価	
<p>基本的な生活習慣、基礎学力の定着とともに自他共に大切にできる力</p>	<p>○基本的な生活習慣、学習習慣を身につける</p>	<p>○基礎・基本につながる授業づくり</p> <p>○家庭学習につながる授業づくり</p> <p>○時間を守り、規則正しい生活・食生活</p>	<p>○授業でつきたい力を明確にした授業づくり（めあての設定と振り返りの実施）</p> <p>○授業と関わらせた宿題の設定や自主学習での取り組み（家勉強化週間を中心とした取り組み）</p> <p>○学校図書館の利用促進（本をたくさん読む）</p> <p>○「のびっ子カード」「家庭学習とメディア調査票」の活用（生活や食生活をよりよくする）</p> <p>○メディア接触の取り組み（家で決めた約束を守って、ゲームやタブレットを使う）</p>	<p>○めあてを提示し、授業でつきたい力を明らかにし、授業の後半では身についた力を活用したり、振り返りをしたりするなどし、定着を心がけた。</p> <p>○授業内容の定着に向けた家庭学習の設定や家勉強化週間による家庭学習の習慣作りに努めた。</p> <p>○各教科の学習と関わらせたり、児童会活動を工夫したりすることにより、読書活動の推進に努めた。</p> <p>○カードの活用により、基本的な生活習慣や食生活の改善、家庭での学習習慣の定着に努めた。</p> <p>○学校での計画的な情報モラルに関わる指導と家への啓発を続けつつ、適宜児童の実態に応じたゲームやタブレットの使い方を考えさせてきた。</p>	B	<p>○授業づくりへの教員の取り組みが児童にも理解が広がり、素晴らしい。継続した取り組みを望む。</p> <p>○家勉強の取り組みもあり、児童の熱量や学力の高まりを感じる。一方で、家庭学習の定着に課題がある。学習習慣定着に向けた指導と保護者との連携に引き続き努めたい。</p> <p>○読書活動は、文章の読み取りや根気強さなど、各教科にも通ずる基本である。読書や調べ学習ができる児童の割合が増えることを望む。</p> <p>○基本的な生活習慣の定着に向けた専門的な指導と親子給食などの企画は、食への関心を高めることにつながる。保護者の協力も得ながら、家庭生活に関して保護者への発信を望む。</p> <p>○メディア接触は、学校だけでは難しい。家庭との連携を継続的に行うことを望む。</p>	A	<p>○今後も児童の”できた””わかった”を求める授業づくりの推進に向けめあての設定や振り返りの充実に努めていく。</p> <p>○家庭での学習習慣づくりに向け、青陵中学校区での取り組みや校内での取り組みに努めつつ、保護者とも連携していく。</p> <p>○各教科の学習や児童会活動とも絡め、読書が好きな子どもの育成に努めていく。あわせて、調べ学習による本の活用によって、本の素晴らしさを実感できるよう努めていく。</p> <p>○給食を中心とした日常的な指導と栄養教諭による指導を効果的に扱いながら、PTA活動における食の重要性を発信し家庭での食生活にもつなげるよう努める。</p> <p>○継続した情報モラル教育とさまりの確認を学校・学級・保健だより等で発信し、保護者への啓発も行う。</p>
<p>自分や他者その関係り・課題をよく考え、取り組み、力</p>	<p>○他者の気持ちを考え、自分自身をどうすべきか考え、判断する</p>	<p>○道徳教育の充実（実践力）</p> <p>○人権教育の推進</p> <p>○児童の支援体制の整備による児童理解の推進</p> <p>○個別最適な学びの実現</p>	<p>○道徳的意欲と児童の実践力に関する肯定的評価（やった方がいいことを進んで行い、職員もその言動を認め、ほめる）</p> <p>○職員研修の実施（児童への人権教育の推進を図る）</p> <p>○個に応じた指導の充実（学び方、環境の整備、ICTの活用）</p> <p>○教育相談・ケース会・QUアンケートの活用（ケース会や生徒指導職員会における、情報共有と児童理解の推進）</p> <p>○アクションプランの実践に伴う振り返り（自分で考え、話し合いに参加する）</p>	<p>○道徳の時間に学んだことを、学校生活の中で認めていくよう努めた。</p> <p>○人権感覚の育成に向けた職員研修の実施と集会等を通して児童とともに考え、学び続ける職員集団づくりに努めた。</p> <p>○個に応じた学習環境の整備やICTの活用推進と、保護者との連携に努めた。夏季・冬季休業には家庭に持ち帰り、進んで活用できるように指導している。</p> <p>○毎学期、教育相談や懇談、その他の相談に丁寧に対応するように努め、児童・保護者の不安や困り感の解消につなげようとした。</p> <p>○授業や学校生活において、話し合いの場を設定し、自分の考えを言葉、文章、ICTなど様々な方法で表現できるよう取り組んだ。</p>	B	<p>○道徳で学んだことを認めていくことはできているが、友だちへの思いやりに欠ける言動が見られた場合には、人権に配慮した継続的な指導が行われることを望む。</p> <p>○個に応じた指導の充実を図りながら、自分の考えを表現できる力を保護者と連携しながら、高めてもらいたい。</p> <p>○子ども達の出すサインに気づき、誰にでも相談できる環境の充実を図り、児童が声をかけたり、保護者との会話が弾んだりする相談しやすい環境づくりに努めてもらいたい。</p> <p>○ICT関係は、今後使用頻度の高まりが想像される。反面配慮事項も増えることが想像されるため、根気強い指導を望む。</p>	B	<p>○児童の言動について、引き続き肯定的評価を行いつつ、全校児童の心を育てていく。また、研修を計画的に行い、職員の人権感覚を磨きつつ、人権教育を基底に据えた児童の教育に当たる。</p> <p>○ICTの活用をはじめとした個別最適な学びに向けた授業や環境づくりと保護者への発信により、一人一人の学びが充実したものにする。</p> <p>○相談しやすい雰囲気・環境づくりに取り組み、児童・保護者・地域の方々の思いの解消につなげる。</p> <p>○ICT活用も含め、普段の授業での充実と参観日等での発信に努める。</p>

<p>自ら進んで学ばし、その意を強く考へていく、力を</p>	<p>○互いの考えを伝え合う 解決に向けて、課題を強く受け取り、</p>	<p>○個別の学びと協働的な学びの充実による主体的で対話的な学習の実現</p> <p>○学校行事の充実 (運動会・学習発表会・市音楽会等)</p> <p>○振り返りの充実による自己肯定感の育成</p>	<p>○ 学力調査結果と関わらせたアクションプランの実践による授業改善 (校内研究・アクションプランの研修・ICTの活用による授業改善への取り組み)</p> <p>○ 総合的な時間を中心とした課題解決的な学習の取組 (地域についての課題を持ち、主体的に追求する)</p> <p>○ 行事に向けた取り組みの充実 (自分の役割を見つけ、精いっぱい取り組む)</p> <p>○ 道徳的なよさに関わる肯定的評価の実施 (学校生活において児童をほめたり、認めたりする)</p>	<p>○校内研究・アクションプランに関する研修を行い、本校の課題と実践の方向性を明確にし、ICT活用を含めた授業改善に努めた。</p> <p>○地域の魅力について低学年ではふれあう中で(さつまいも・昔遊び等)、中学年は地域を学ぶ中で(波子・敬川・有福温泉の町探検)、高学年では産業を学ぶ中で(宮内窯・水産業)、関心を持たせること、課題を見つけることに取り組んだ。</p> <p>○学校行事や学級活動・縦割り班活動の中で、自分の役割を見つけ、精いっぱい取り組むことができるよう肯定的評価に努めた。</p> <p>○道徳的なよさが実感できるよう学校生活において、全職員が児童をほめたり、認めたりすることを重点として取り組んできた。</p>	<p>B</p> <p>○授業改善に伴って、児童も積極的に取り組んでいる。</p> <p>○児童・保護者は地域の人との関わりを通してふるさとのよさや魅力を感じている。今後も、地域理解・地域愛が深まるよう学校・保護者・地域が一緒になって指導が進むことを望む。</p> <p>○高学年がリードする姿から児童の一体感を感じる。また、たくさんの方の前での表現活動により、力の高まりが感じられる。 今後、役割を明確に示し、自主的な活動に向けた改善にもいっそう努めてもらいたい。また、学校行事は、学校・家庭だけでなく、地域の方も気楽に参加できる環境づくりを願う。</p> <p>○道徳の学習と実際の友だちとの関係の中での気づきにより、成長が見られる。また、職員が”ほめる・認める”ことを重点として取り組んでいることにより、児童は喜びを感じていると考えられる。今後も継続した取り組みを進めることを望む。</p>	<p>A</p> <p>○学力調査の結果等を踏まえた本校の児童の実態に合った取り組みと授業改善を進め、学力の育成に努めていく。</p> <p>○教員自身が地域に足を運んだり、地域の方とのふれあったりすることで、魅力を実感し、ふるさと教育につなげていく。</p> <p>○児童に見通しを持たせる中で、自主的な役割遂行を推進する。そして、職員も一緒になって取り組むことで、積極的に児童の取り組みをほめ、意欲を高めていく。</p> <p>○”ほめる・認める”ことを重点とした取り組みをチームとして大切にし、児童の自己肯定感を高めていく。</p>
--------------------------------	--	--	---	---	--	---